

※本ニュースリリースは株式会社NTTデータと株式会社 unerry が共同で配信しています。重複して配信されることがありますが、ご了承願います。

2020年6月18日

NTTデータと unerry、「新たな移動体験」の提供に向け資本業務提携 ～人流ビッグデータを活用し、混雑回避や消費者の多様な価値観に沿った快適な移動を実現～

株式会社NTTデータ
株式会社 unerry

株式会社NTTデータ(本社:東京都江東区、代表取締役社長:本間 洋、以下:NTTデータ)と、株式会社 unerry(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:内山 英俊、以下:unerry)は、4月15日、移動と目的地でのサービス利用に関わる社会課題を解決し、新たな移動体験を得られる社会の実現を目的に、資本業務提携を締結しました。

まずは、2020年6月18日から、アフターコロナの世界における安心・安全な移動を支援するアプリ「おでかけ混雑マップ」(無償)を提供します。次に、個人ごとの興味・関心に合った快適な移動を実現する「モビリティ・コマースサービス」を、2020年度内に提供を目指します。本サービスにより、人流ビッグデータに基づくお出かけ先のレコメンドや、目的地(商業施設など)情報の事前提供、予約、購入などが可能となります。

NTTデータの顧客基盤およびシステムインテグレート・アジャイル開発力と、unerry が保有する人流ビッグデータを合わせ、お客さまのデジタルトランスフォーメーションを、デジタル/リアル両面から支援します。

【背景・目的】

NTTデータと unerry は、これまでデジタルマーケティングなどの分野で連携実績があります。今回の資本業務提携により、unerry の地下街や施設内など広い範囲での人々の行動を見渡せる「オフライン行動ビッグデータ」の活用で、消費者行動の変化を適切に捉え、買い物や旅行などにおける移動をより快適にする新たなサービスを提供します。

また、新型コロナウイルス感染症が与えた「安全」、「節約」、「合理」、「家(家族)重視」、「協調」などの価値観変化が、消費や行動を大きく変容させるものと考えます。全体として消費者行動は、より安心・安全に、そして楽しみ(お出かけなど)はより個人の価値観に合わせて効率/合理的にという方向になっていくと予想されます。そこで、新たな移動体験提供の第一弾として、オフライン行動ビッグデータと Twitter データを合わせた「おでかけ混雑マップ」を提供します。

【おでかけ混雑マップの概要】

アフターコロナにおける3密回避と安心・安全な移動を支援することを目的に、全国約2.8万店のスーパーやドラッグストア等のお店周辺について、曜日・時間帯別混雑傾向が調べられるモバイルアプリ「おでかけ混雑マップ」を無償提供します。unerry が公開中の「お買い物混雑マップ powered by Beacon Bank」に、NTTデータの Twitter データ活用サービス「なずき®」を組み合わせることで、店舗別の混雑傾向だけでなく、ユーザーのつぶやき情報を確認し、お店の状況を把握することが可能です。



図1:おでかけ混雑マップアプリの画面イメージ



※iOS 版は近日公開予定

詳細は「別紙1:お出かけ混雑マップのご案内」をご参照ください。

◆今後の展開について

対象店舗の拡大、Twitter データ分析から得られるお出かけに役立つ情報の提供、利用プラットフォームの追加(iOS)、混雑予測機能など、今後の状況変化に合わせた機能追加を順次、行っていきます。

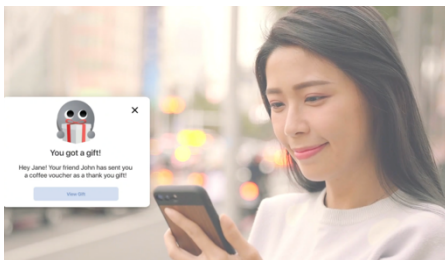
【モビリティ・コマースサービスの概要】

第一弾の安心・安全な移動に続き、第二弾ではお出かけを個人の価値観に合わせて、より効率/合理的な移動体験を提供します。

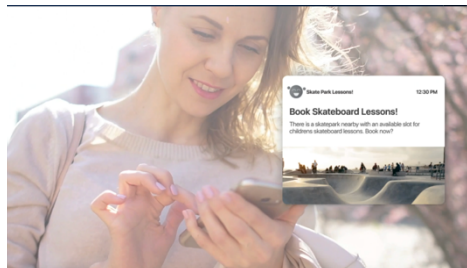
CASE/MaaS 時代となり、自動車を中心とした移動事業者にとってはビジネスチャンスが拡大すると同時に、新規のプレーヤーも含めた複雑な業界環境となっています。それにより、消費者は、移動手段や移動中の体験、移動先でのサービス利用など、さまざまな場面での選択肢が大きく広がってきています。そこで両社は、消費者視点で「移動」や「目的地での消費」までのお出かけ体験を一連のものとして捉え、各業界の情報統合・サービス連携を推進します。

本サービスでは、自動車やバスなどで移動する消費者と、飲食店や商業施設・観光地などの目的地サービス事業者をつなぎ、各業界のサービスを一体で提供します。また、人流ビッグデータなどから消費者の好みを理解し、個人に合わせたレコメンドやコンテンツを提供します。

コンセプトムービー (注1)



ユーザー体験(トラベル編)



ユーザー体験(ショッピング編)



ビジネスコンセプト編

◆今後の展開について

現在、外部サービスとの接続を試行する移動事業者(自動車 OEM、カーシェア、MaaS オペレーター等)およびサービス事業者(小売・観光・商業施設等)数社と、モビリティ・コマースサービスの検討を開始し、一部では実証実験を実施しています。今後、本サービスでの新たな移動体験の実現に向け、より多くの移動事業者、サービス事業者との連携を目指します。

また、消費者のお出かけをより本質的に楽しめるものにするだけでなく、移動事業者やサービス事業者への価値提供を行い、新たな時代の活気ある快適な社会の実現を目指します。

詳細は「別紙2:モビリティ・コマースサービスのご案内」をご参照ください。

【協業における両社の役割】

NTTデータ

多様な業界の顧客基盤により、消費者と事業者間の取引の標準化を目指すと共に、SIの実績を生かした各社業務の再設計とシステム化を支援します。また、unerry のビッグデータを加えることで、混雑情報の提供、個人ごとの興味関心にあったサービスを提供します。

unerry

オフライン行動データプラットフォーム「Beacon Bank(以下:BB)」(注2)をベースに、多くのコンサルティングや消費者の行動変容につながるマーケティング施策を手がけてきた技術やノウハウをNTTデータに提供します。また、BB と親和

性の高いサービスをNTTデータとともに開発し、サービス提供に寄与します。



図 2: オフライン行動データプラットフォーム

(注 1) コンセプトムービーは、NTTデータと資本業務提携しているデザインファーム Star のミュンヘンスタジオと共同で作成しました。

(注 2) オフライン行動データプラットフォーム「Beacon Bank」は、大量のビーコンをネットワーク化して相互活用できるプラットフォーム(特許技術)としてスタートしました。現在は GPS も含めたリアルタイム人流ビッグデータや「カメラの設置なしで精度良く施設内人数を推定する独自IoT機器(特許技術)」をはじめとした多様なIoT、データとの連携が可能な、リアルな「場所」と「ヒト」をAI解析できるマーケティングプラットフォームとなっています。とりわけ日本全国約150万個(2020年6月現在)規模となったビーコンネットワークには、GPSでは難しい屋内/地下街の店舗単位での高精度な行動ログが集積され、消費者行動が詳細理解できることが強みとなっています。また、Beacon Bankのデータは、個人を識別するデータ・情報は使用しておらず、個人を特定する目的で利用することはありません。

* 「なずき」は日本国内における株式会社NTTデータの登録商標です。

* 「Beacon Bank」は日本国内における株式会社 unerry の登録商標です。

* その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

<p>■ 株式会社NTTデータ</p> <p><報道関係のお問い合わせ先></p> <p>広報部</p> <p>大島</p> <p>Tel:050-3646-0547</p> <p><製品・サービスに関するお問い合わせ先></p> <p>製造 IT イノベーション事業本部</p> <p>コンサルティング&マーケティング事業部</p> <p>テクノロジー&トランスフォーメーション担当</p> <p>高村・赤司</p> <p>Tel:050-5546-9530</p>	<p>■ 株式会社 unerry</p> <p><報道関係のお問い合わせ先></p> <p>マーケティング担当</p> <p>内山</p> <p>Mail: information@unerry.co.jp</p> <p><製品・サービスに関するお問い合わせ先></p> <p>Beacon Bank 事業部</p> <p>鈴木</p> <p>Mail: information@unerry.co.jp</p>
--	--

別紙 1:おでかけ混雑マップのご案内

お出かけ時に、スーパーやドラッグストア等のお店周辺の曜日・時間帯別混雑傾向が調べられます。「密」を避ける行動のための参考情報として利用できます。本サービスは、unerry が人流ビッグデータを活用して公開中のWEB サイト「お買い物混雑マップ powered by Beacon Bank」に、追加機能を織り込んだモバイルアプリ版です。

■サービスの特長

(1) お店周辺の混雑状況が一目でわかる^(※1)

スマートフォンの位置情報(GPS)を元に、お店周辺約 100m の混雑状況を AI 解析し、「通常より混雑」「通常」「いつもより空いている」の3段階で表示します。今、お店に行くかどうかの参考になります。

(2) 曜日別・時間帯別の混雑傾向がわかる^(※2,3)

お店を選ぶと、過去1週間の混雑状況がひと目でわかります。いつお店に行くかを決めるときの参考になります。

(3) お店の営業時間がわかる^(※4) ★アプリ限定

選んだお店の最新の営業時間がわかるので、実際に訪問した時に「閉まっている」ということが避けられます。

(4) Twitter 上のお店の話題・つぶやきがわかる^(※5) ★アプリ限定

混雑傾向に加え、お店に関する最新のつぶやきを確認することが可能です。お店に行くかどうか迷っているときや、実際に訪問したときの参考になります。



図1:おでかけ混雑マップアプリの画面イメージ

■注意事項

- ※1 おでかけ混雑マップはスマートフォンの GPS 機能を利用して位置情報を取得します。通信状況によって位置情報がずれることがあります。
- ※2 混雑状況に店舗の営業有無 / 時間は考慮されていません。
- ※3 店舗ごとの営業状況は事態に応じて変更の可能性があり、周辺の混雑状況も加味しているため、営業外の時間も表示されています。
- ※4 営業時間を含むお店の基本情報はウェブ版 Google マップから取得しており、最新の情報ではない可能性があります。
- ※5 本アプリに記載されている Twitter データは、ウェブ版 Twitter と同一のデータとなります。情報の鮮度や内容は、店舗によって異なります。

本取り組みにおいて活用の対象となる「Twitter 全量データ」は、Twitter アカウントの所有者が個人の意思で公開している情報のみが取得可能であり、それ以上の情報は取得・分析できません。また、あらゆる分析、データの提供に際しても、個人の特定や、個人情報をひも付けるための追加の情報収集・解析、および個人を特定できるような形でのデータ追跡などは、一切行うことはできません

別紙 2: モビリティ・コマースサービスのご案内

自動車やバス・鉄道などで移動中のユーザと飲食店や商業施設・観光地などの目的地のサービスを繋ぎ、個人毎の本質的な興味・関心に合った情報配信などにより、到着前からお出かけを楽しめる新しい移動体験を提供するサービスです。本サービスにより、人流ビッグデータに基づくお出かけ先の Recommend や、目的地(商業施設など)情報の事前提供、予約、購入などが可能となります。

■ サービスの特長

① 人流ビッグデータに基づく Recommend で新たな気づきを得られる

お出かけの際に、自らで大量の情報から好みを探さなければならない現状から、個人に合ったコンテンツを Recommend し、新たな発見をもたらします。本機能は、屋内・地下街を見通す Beacon 反応による高精度オフライン行動ビッグデータと AI アルゴリズムにより実現します。

② 個人の好きなタイミング/場所でサービスを利用できる

自宅での EC サイトを使ったサービス利用は拡大傾向にありますが、いまだ実店舗でのサービス利用が大半を占めています。移動中で多くの制約がある中でも、予約や商品閲覧などの実店舗でのサービスを事前に体験することができるようにします。

③ 移動時間がさらに楽しくなる

運転を楽しむ場面以外においては、移動は退屈になることもあります。本サービスは、移動中ならではのエンタメコンテンツを提供します。これは、Star、4D といったデザインファーム、およびゲーム業界などとのアライアンスにより、消費者に受け入れられるサービスの実現を可能とします。

■ 移動事業者・サービス事業者のメリット

移動事業者にとっては、「ドライバー体験の向上による顧客の囲い込み」・「自動車のメディアとしての新たな収入源の創出」が期待できます。一方、小売・観光・商業施設などのサービス事業者にとっては、「モビリティ・コマースマーケットという新たなマーケットへの参入」・「利用者の行動変容による顧客の取り込み」が期待できます。

移動・目的地サービス事業者双方のビジネスを拡大



図1: サービスコンセプト

モビリティ・コマースサービスの特長



図 2: サービスの特長